

# 広報 なんこう 南広だより

南但広域行政事務組合

2013  
第12号  
1月発行

平成25年4月供用開始  
南但ごみ処理施設



◀  
H  
24  
・  
11  
・  
28  
撮影



▲遠景 (H24.11.22 撮影)

構成市の概要（平成24年11月末現在）

市名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km <sup>2</sup> )
養父市	26,492	9,725	422.78
朝来市	33,321	12,386	402.98
計	59,813	22,111	825.76

## ☆主な内容☆

- 管理者・議長新年のごあいさつ ..... 2
- 組合議会 ..... 3
- 南但ごみ処理施設建設事業 ..... 4~6
- 農業共済からのお知らせ ..... 7~8

◇発行 南但広域行政事務組合 ◇編集 南但広域行政事務組合 総務係  
◇〒667-0126 兵庫県養父市堀畑550 ◇Tel: 079-665-0146 Fax: 079-665-0148



「南広だより」は資源保護のため再生紙を使用し、環境に優しいソイ（大豆油）インキで印刷しています。

# 管理者・議長新年のごあいさつ



南但広域行政事務組合  
管理者 多次 勝昭  
(朝来市長)

新年明けましておめでとうござ  
います。

養父市・朝来市の皆様には御家  
族お揃いで新年をお迎えのことと  
お慶び申し上げます。平素は、当  
組合が共同処理しておりますスポ  
ーツセンター、南但休日診療所、  
障害福祉サービス事業所、電算業  
務、農業共済事業等の推進に対し  
格別の御理解と御協力を賜り厚く  
お礼申し上げます。

また本年は、平成十三年から養  
父市・朝来市、両市の支えにより  
新たな取組として進めてまいりました  
ごみ処理施設整備事業が、い  
よいよ四月から本格稼動し、すべ  
てのごみ処理と資源化を行うこと  
となりました。この南但ごみ処理  
施設は、高効率原燃料回収施設と  
いい、ごみを燃やすだけにとどま  
らず、バイオマスという新しい方  
式を採用し、ダイオキシンや二酸  
化炭素の発生抑制、未活用エネル  
ギーの有効利用を図りながらごみ  
を処理していく施設であります。

施設稼動後は、循環型社会、脱  
温暖化社会の形成を目的として安  
全・安心を最優先に、環境に配慮  
した適切な施設の運転・管理に注  
力してまいる所存です。

更に、本組合の管轄区域の多様  
な消防ニーズや、社会環境の変化

に的確に対応するため、消防力強  
化による市民サービスの向上・行  
財政運営の効率化及び基盤の強化  
を図ることを目的として、同じく  
同事務として体制整備を図り、新  
たに南但消防本部として発足させ  
ることになっています。

昨年を振り返りますと、十一月  
には待望久しい北近畿豊岡自動車  
道和田山八鹿道路が開通しました。  
この区間に位置する養父市・朝来  
市は言わざと知れた交通の要衝で  
あり、自然・歴史・文化的遺産に  
恵まれています。私は、この開通  
を南但地区の有する地域資源を活  
かした新たな事業の創出、地域経  
済の活性化という課題解決に向け  
ての好機ととらえ、本組合の諸事  
業を積極的に展開してまいります。

どうか養父市・朝来市の市民の  
皆様には本組合の事業各般におき  
まして更なる御協力と御理解、御  
支援を賜りますようよろしくお願  
い申し上げます。年頭に当たり皆様の御多幸を祈  
念申し上げ、ごあいさつとさせて  
いただきます。

新年明けましておめでとうござ  
います。

輝かしい平成二十五年の年明け  
をご家族お揃いでお迎えのことと  
お慶びを申し上げます。

南但広域行政事務組合議会議長  
の勝地恒久でございます。議会を  
代表いたしまして新年のごあいさ  
つを申し上げます。

昨年の十一月六日に養父市議会  
の議長に就任し、同月十五日の南  
但広域行政事務組合議会第百十一  
回臨時会で、当組合の議長という  
大役をおおせつかりました。その  
責任の重大さを重く受けとめ、両  
市民の皆様のご期待に答えられる  
よう努力いたす所存でございます。

平成十六年、十七年と平成の大  
合併により、旧養父郡、朝来郡が  
それぞれ合併して養父市、朝来市  
が誕生しました。現在、南但広域  
行政事務組合は、養父市、朝来市  
の二市で構成し、広域的に行うこ  
とのほうが負担の軽減が図られ、  
且つ、効率的で効果の上がる事務  
について共同処理を行つております。  
その事業としまして南但ス  
ポーツセンター、電算による事務  
の共同処理、農業共済事業事務等  
がありますが、その事業推進に日  
頃より深いご理解とご協力を頂き、  
誠にありがとうございます。

そして本年三月、両市の重要課



南但広域行政事務組合議会  
議長 勝地恒久  
(養父市議長)

題でありました南但ごみ処理施設  
建設の大事業が成し遂げられるこ  
ととなりました。地元の皆様をは  
じめ周辺地区的皆様に対しまして、  
改めて敬意と感謝の意を表すもの  
であります。

両市の財政が大変厳しい折では  
ありますが、両市民にとりまして  
必要不可欠な施設であります。施  
設の本格稼動による公害防止、環  
境保全の推進を図り、市民の皆様  
の暮らしを守るためにも大事な事  
業であります。安全、安心な施設  
で環境にも充分考慮した施設です  
が、今後、当組合議会といたしま  
して、慎重審議を重ねて参りたい  
と考えております。

また、養父市及び朝来市消防広  
域化につきましては、昨年八月、  
その消防広域化に関する協議が両  
市で整い、調印がなされ、本年四  
月より、南但広域行政事務組合の  
組織のもとに広域消防設置をする  
ことになりました。人口減少時代  
の到来に対応したこのたびの広域  
化は、広域化のメリットを發揮し  
た常備消防力による対応の検討を  
踏まえた効果的・効率的な消防体  
制を整備確立するものです。

今後、両市における南但広域行  
政事務組合議会の責務はますます  
重大となつて参ります。

今後とも、目的達成のため鋭意  
努力を重ねて参りたいと考えてい  
ますのでご理解、ご協力をお願  
い申上げます。

養父市、朝来市の市民の皆様方  
のますますのご健勝、ご多幸を祈  
念いたしまして年頭のあいさつと  
させていただきます。

# 南但広域行政事務組合議会

議長 勝地 恒久	議会運営委員会 委員長 西田 雄一 副委員長 能見勇八郎 北尾 行雄 岡田 和之 4名	総務委員会 委員長 渕本 稔 副委員長 竹浦 昭男 北尾 行雄 岡田 和之 中島 利信 荒田 幹夫 西田 雄一 能見勇八郎 上道 正明 勝地 恒久 全議員10名	南但広域ごみ処理 計画特別委員会 委員長 中島 利信 副委員長 荒田 幹夫 北尾 行雄 渕本 稔 岡田 和之 竹浦 昭男 西田 雄一 能見勇八郎 正副議長を除く8名
監査委員 北尾 行雄			11月15日開催の 第111回臨時会により、 組合議員の構成が 決まりました。

南但広域行政事務組合は、平成24年9月26日から10月4日まで、第110回南但広域行政事務組合議会定例会を開催しました。次の審議結果のとおり、報告第2号、議案第18号から第26号、及び認定第1号から認定第4号までのすべての案件につきまして慎重に審議いただきました。

## 第110回南但広域行政事務組合議会定例会(平成24年10月)審議結果

議案番号	件名	議決年月日	結果
報告第2号	平成23年度南但広域行政事務組合農業共済事業特別会計資金不足比率について	H24.9.26	報告
議案第18号	南但広域行政事務組合職員の給与に関する条例制定について	H24.10.4	原案可決
議案第19号	職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定について	H24.10.4	原案可決
議案第20号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	H24.10.4	原案可決
議案第21号	職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例制定について	H24.10.4	原案可決
議案第22号	平成24年度南但広域行政事務組合農業共済事業の損害防止実施に伴う特別積立金の取崩しについて	H24.10.4	原案可決
議案第23号	平成24年度農作物共済無事戻金の交付について	H24.10.4	原案可決
議案第24号	平成24年度畑作物共済無事戻金の交付について	H24.10.4	原案可決
議案第25号	平成24年度園芸施設共済無事戻金の交付について	H24.10.4	原案可決
議案第26号	平成24年度南但広域行政事務組合農業共済事業特別会計補正予算(第1号)について	H24.10.4	原案可決
認定第1号	平成23年度南但広域行政事務組合一般会計決算の認定について	H24.10.4	認定
認定第2号	平成23年度南但広域行政事務組合電算事業特別会計決算の認定について	H24.10.4	認定
認定第3号	平成23年度南但広域行政事務組合休日診療所特別会計決算の認定について	H24.10.4	認定
認定第4号	平成23年度南但広域行政事務組合農業共済事業特別会計決算の認定について	H24.10.4	認定

# 工事の進捗状況

工事進捗率  
11月末 86%

## 平成25年4月の供用開始に向け 施設建設工事が終盤に入る

南但ごみ処理施設の建設は順調に進み、進捗率が11月末現在で86%となりました。高効率原燃料回収施設については、主要な工事が完了し、12月より各機器の調整を行います。リサイクルセンターについては、主要な機器の据え付けがほぼ完了し、今後は内部の仕上げ作業を行っていきます。



### 施設概要

施設構造 地下1階 地上4階 鉄骨造  
(一部鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造)

処理能力 热回収施設（焼却施設） 43t /日 ストーカ式 1炉  
バイオマス施設 36t /日 メタン発酵槽1基  
リサイクルセンター(資源化施設) 17t /日 ストックヤード含む

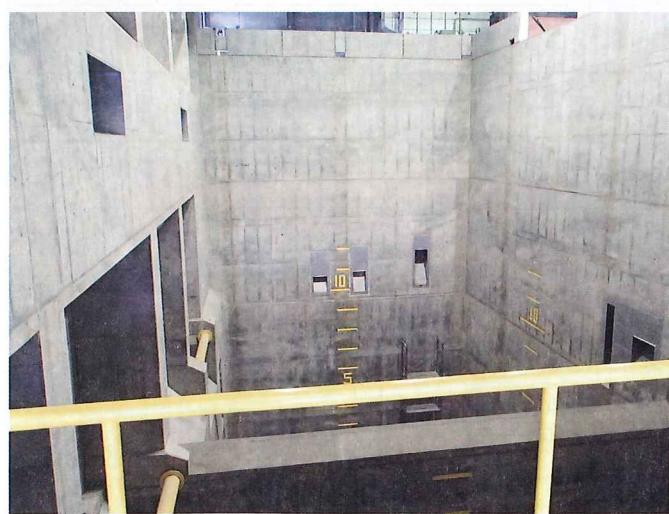
発電能力 バイオガス発電 発電出力 308 kw  
年間発電量 260万 kwh



▲高効率原燃料回収施設



▲ガス貯留槽とメタン発酵槽



▲ごみピット

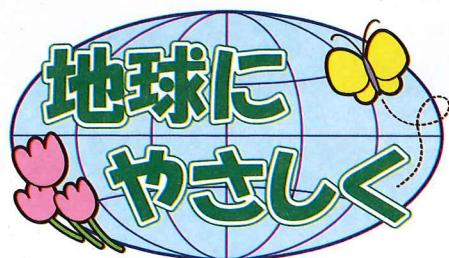


▲リサイクルセンター

# 南但ごみ処理施設の特徴

この施設では、可燃ごみの処理方式として、バイオマスと焼却を組み合わせた高効率原燃料回収施設を整備しています。一般廃棄物処理施設として、バイオマス施設と焼却施設を併設するのは、地方公共団体としては全国初となります。

バイオマス施設では、生ごみや紙が持つ有機物のエネルギーを微生物によりバイオガスとして取り出し、活用します。

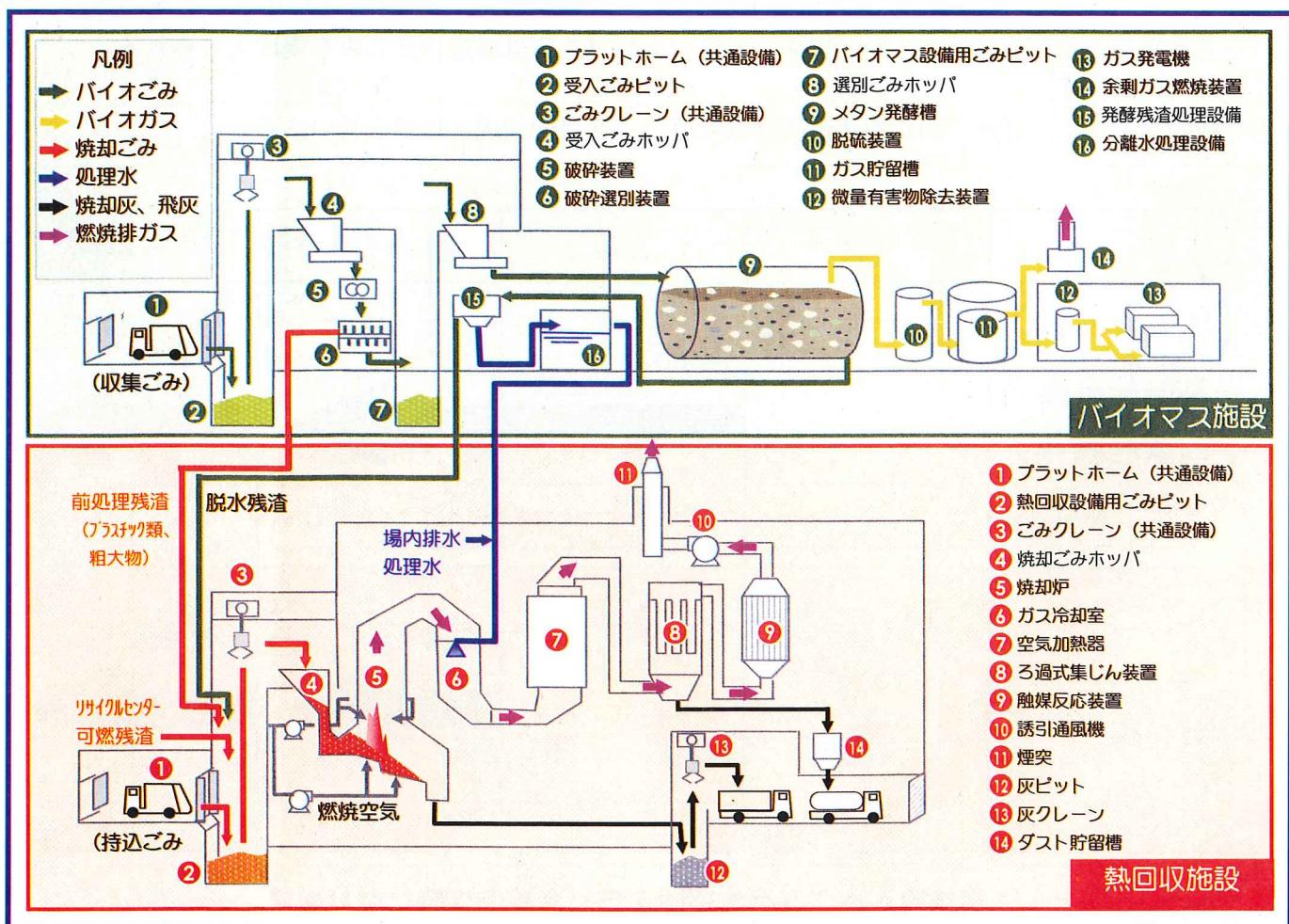


**バイオマス**

+

**焼却**

リサイクルセンターでは、プラスチック製容器包装・紙製容器包装・ペットボトルは手選別し、それぞれを圧縮梱包します。アルミ缶・スチール缶は磁気によって選別し、それを圧縮成型します。大型ごみ・不燃ごみなどは小さく破碎し、鉄・アルミ・可燃物・不燃物に分類して有效地に利用されます。



## 南但ごみ処理計画検討委員会

8月3日に計画検討委員会を開催しました。19回目となる会議では、新しく委員に就任された方に委嘱状を交付した後、南但地域のごみ処理状況、養父市の新たな分別収集の取り組み状況について協議を行いました。

その後、建設中の施設現場を視察しました。



## 周辺地区連絡協議会

11月26日に周辺地区連絡協議会を開催しました。

施設稼働前後の周辺環境調査、施設稼働後の環境保全監視組織に関すること等について協議を行いました。

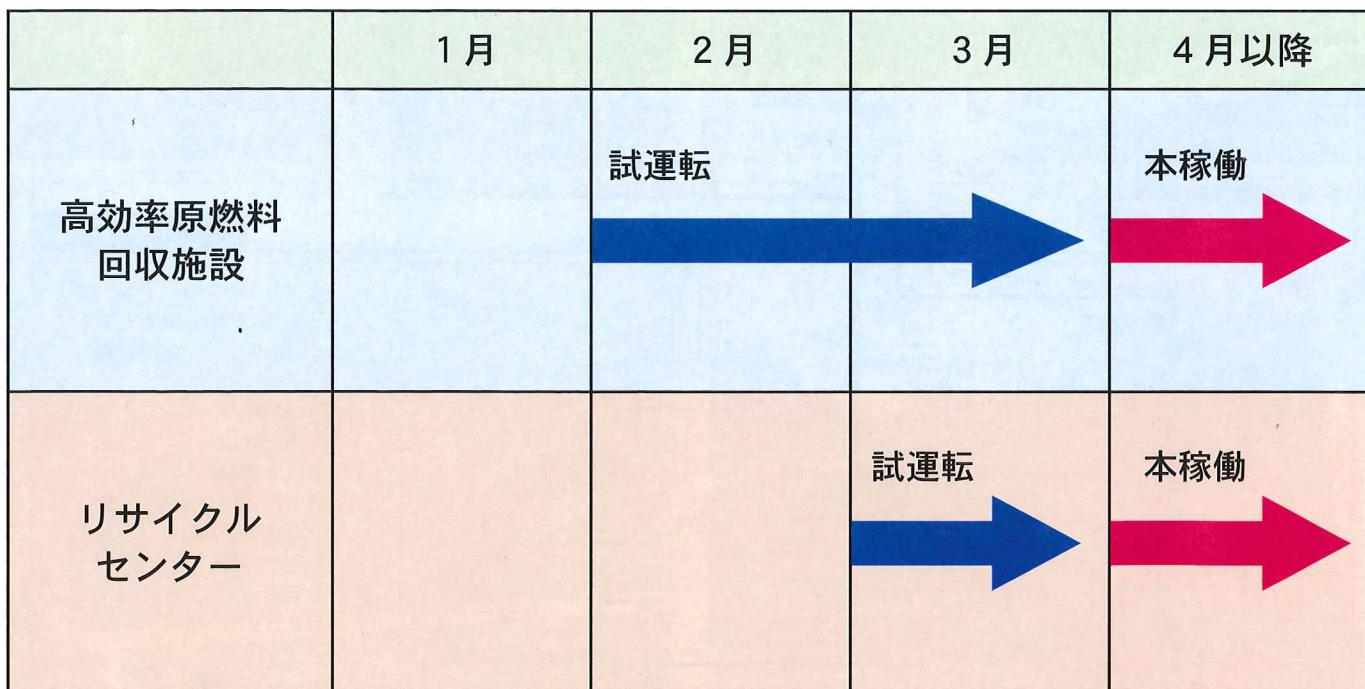


## 供用開始までの流れ

施設への直接持込ごみは平成25年4月から

12月からは運転に従事する職員の教育訓練が始まり、より安全・安心な運用をめざして準備を進めています。平成25年2月からはバイオマス施設、焼却施設のそれぞれで試運転を始める予定で、バイオマス施設については微生物の働きやメタン等のバイオガス発生状況を確認しながら徐々に処理量を増やしていきます。そして、4月からは直接持込ごみを受け入れられるよう進めています。

環境面では、試運転の前に周辺環境調査を行い、運用開始後と比較を行います。



ごみの持込は？

当施設へのごみの持込は4月の本稼働以降になります。

# 平成23年度

## 農業共済事業特別会計決算を公表します

平成24年10月4日に南但広域行政事務組合会議室において、第110回南但広域行政事務組合議会定例会が開催され、平成23年度南但広域行政事務組合農業共済事業特別会計決算が認定されましたので、決算の概要数値を公表します。

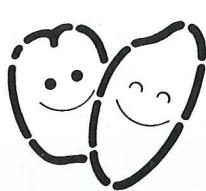
### ◆事業実績

平成23年度農業共済事業は、関係機関及び関係者の理解と協力を得ながら積極的な事業推進を行った結果、総共済金額で18億3,237万円(前年比98.8%)と前年度を若干下回る実績となりました。

一方、被害状況は、台風の通過などによる暴風雨や局地的な集中豪雨などにより天候不順の影響、また、山間部を中心にイノシシ、シカなどによる獣害が発生し、水稻、大豆などの収穫共済で被害となりました。

とくに、水稻共済では前年度を大きく上回る被害となり、支払共済金の総額は、61,767,944円(同95.8%)となりました。

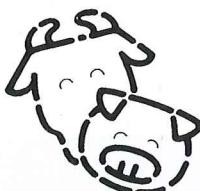
なお、事業別には次の通りです。



農作物共済  
(水稻)



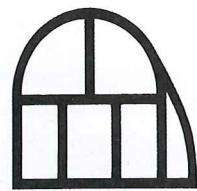
農作物共済  
(麦)



家畜共済



畑作物共済  
(大豆)



園芸施設共済

引受状況		引受状況		引受状況		引受状況		引受状況	
加入者数	4,281人	加入者数	1人	加入者数	62人	加入者数	108人	加入者数	70人
引受面積	167,492ha	引受面積	119ha	引受頭数	4,416頭	引受面積	4,788ha	引受棟数	514棟
共済金額	10億9,100万円	共済金額	4万円	共済金額	6億1,503万円	共済金額	6,266万円	共済金額	6,362万円
被害状況		被害状況		被害状況		被害状況		被害状況	
被害加入者数	122人	被害加入者数	一	死廃頭数	181頭	被害加入者数	56人	被害加入者数	9人
被害面積	2,421ha	被害面積	一	病傷件数	2,576件	被害面積	2,328ha	被害棟数	14棟
共済金	459万円	共済金	一	共済金	5,117万円	共済金	555万円	共済金	44万円

### ◆損害防止事業

対象事業名	事業量	事業費用
水稻損害防止事業(有害鳥獣対策協議会助成)	167,492ha	2,000千円
水稻病害虫発生状況調査、生育診断圃調事業	13筆	一
家畜用薬剤の配布等	4,416頭	1,756千円
大豆の葉剤費助成等	4,788ha	154千円
園芸施設補修材の配布	514棟	101千円

【お問い合わせ】南但広域行政事務組合農業共済事務所

朝来市和田山町和田山372-1 (☎ 672-5500 FAX 670-2535)



# 平成24年産 水稻共済金2,230,246円を支払いました

平成24年産水稻は、台風16号に伴う強風、雷雨などによる倒伏が管内で見られましたが、収穫期での倒伏であったため、被害は小さく抑えられました。しかし、近年被害が拡大しつつある獣害(イノシシ、シカなど)による被害については、昨年と比べて増加(平成23年産獣害被害面積613.4ha)となりました。

損害評価会委員、各地区損害評価員などのご理解、ご協力をいただき適正で公平な損害評価を行った結果、平成24年産水稻共済支払共済金は、2,230,246円(対前年比48.5%)と、昨年に比べて大幅な減額となりました。

被害の主な内訳は、獣害798.3ha(イノシシ356.6ha、シカ441.7ha)、風水害437.3ha、病害177.9ha、虫害28.0haでした。



▼暴風雨による倒伏



▲イノシシによる被害

## ◆平成24年産 水稻共済事業実績表

	引受状況				被害関係				被害率	
	加入者数 (人)	引受筆数 (筆)	引受面積 (a)	共済金額 (円)	支払戸数 (戸)	被害筆数 (筆)	被害面積 (a)	支払共済金 (円)	面積(%)	金額(%)
八鹿地域	535	2,234	23,842	158,289,314	9	16	131	329,024	0.5	0.2
養父地域	721	2,503	22,719	145,580,385	17	18	173	300,700	0.8	0.2
大屋地域	413	1,112	10,900	70,528,335	5	7	60	86,136	0.6	0.1
関宮地域	416	1,662	13,804	87,965,517	10	13	99	203,506	0.7	0.2
生野地域	133	429	4,583	27,056,507	6	8	101	127,652	2.2	0.5
山東地域	523	2,460	27,530	181,926,223	10	15	189	221,742	0.7	0.1
和田山地域	857	3,602	43,542	285,830,946	20	40	608	756,040	1.4	0.3
朝来地域	559	1,753	21,224	138,437,351	8	13	80	205,446	0.4	0.1
合計	4,157	15,755	168,144	1,095,614,578	85	130	1,441	2,230,246	0.9	0.2

<b>【お問い合わせ】</b>
南但広域行政事務組合農業共済事務所
朝来市和田山町和田山372-1
FAX 670-2255-3355

3年間無事故または軽微な被害の場合には、3年間の農家負担掛け金の一部を無事戻金としてお返しします。  
※收支状況によってはお返しきれない場合もあります。



▲雪害により全損したビニールハウス

共済金の被害発生のつど1棟ごとに損害評価を行い、損害額が3万円または共済価格(時価額)の1割を超える場合に支払われます。

▼掛け捨てではありません

特定園芸施設、附帯施設(冷房施設、換気施設、かん水施設など)  
※施設内で耕作している、野菜、花卉は除きます。

**異常気象、災害に備えて  
園芸施設共済へ加入を!**

▼加入できるもの